



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月9日

上場取引所 東

上場会社名 沢井製薬株式会社

コード番号 4555 URL <http://www.sawai.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 澤井 光郎

問合せ先責任者 (役職名) 理事 経営管理部長 (氏名) 末吉 一彦

TEL 06-6105-5711

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	19,684	24.0	4,103	21.3	4,273	21.3	2,701	20.7
24年3月期第1四半期	15,878	0.5	3,382	△3.1	3,522	2.3	2,238	17.0

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 3,059百万円 (5.7%) 24年3月期第1四半期 2,894百万円 (299.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	170.98	140.94
24年3月期第1四半期	141.61	116.66

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	124,908	59,801	47.8
24年3月期	123,399	58,574	47.4

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 59,725百万円 24年3月期 58,494百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	60.00	—	80.00	140.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	70.00	—	80.00	150.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	38,500	20.6	7,500	8.9	7,600	8.2	4,700	7.4	297.43
通期	82,000	21.3	16,500	10.0	16,600	10.0	10,300	14.1	651.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	15,841,000 株	24年3月期	15,837,200 株
25年3月期1Q	71,512 株	24年3月期	712 株
25年3月期1Q	15,801,920 株	24年3月期1Q	15,809,954 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

当社は、平成24年8月9日に機関投資家及びアナリスト向けの四半期決算説明会(カンファレンスコール)を開催する予定です。その模様及び説明内容(音声)については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成24年4月～6月）におけるわが国経済は、東日本大震災後の復興需要等を背景として、景気は緩やかに回復しつつあるものの、欧州債務危機に端を発した世界景気の減速や電力供給の制約等の要因により、依然として不透明な経済環境が続きました。

ジェネリック医薬品業界におきましては、ジェネリック医薬品の使用促進に向け、平成24年4月から、「薬局における薬剤情報提供文書を活用した後発医薬品に係る情報提供の評価」のほか、「後発医薬品調剤体制加算の見直し」、「一般名処方の推進」といった様々な制度改定が実施され、患者さんや医療機関からジェネリック医薬品を選択していただきやすい環境が整備されました。その一方で、本年6月掲載のゾルピデム酒石酸塩等主要3成分にいずれも30社前後の企業が参入し、ますます競合が激化している上、大手調剤薬局グループ等のバイイングパワーを背景とした価格引下げ圧力等、ジェネリック医薬品の取引価格に対する下落圧力が一層強まっています。

このような状況の下、当社グループは「なによりも患者さんのために」の企業理念のもと、新中期経営計画「M1 TRUST 2015」を平成24年5月に公表し、更なる成長をはかることにしました。当第1四半期連結累計期間におきましては、4月に新しい統合基幹業務システム（ERP）を稼働させるとともに、生産効率向上を目的に連結子会社であるメディサ新薬株式会社から吸収分割により生産事業を承継し、6月にゾルピデム酒石酸塩、ロサルタンカリウム、パロキセチン等5成分15品目の新製品の発売を行ったほか、受注増加に対応した安定供給体制の強化、卸・販売会社のMSとの緊密な連携等様々な施策を実施し、業績の向上に努めました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は19,684百万円（前年同期比24.0%増）、営業利益が4,103百万円（前年同期比21.3%増）、経常利益が4,273百万円（前年同期比21.3%増）、当四半期純利益が2,701百万円（前年同期比20.7%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は79,655百万円となり、前連結会計年度末に比べ852百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が2,052百万円減少したことと、受取手形及び売掛金が1,202百万円増加したことによるものであります。固定資産は45,252百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,360百万円増加いたしました。これは主に、有形固定資産が1,437百万円、投資有価証券が991百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、124,908百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,508百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は27,139百万円となり、前連結会計年度末に比べ207百万円増加いたしました。これは主に、短期借入金が1,600百万円、未払金が1,511百万円、支払手形及び買掛金が617百万円増加したことと、未払法人税等が3,320百万円減少したことによるものであります。固定負債は37,967百万円となり、前連結会計年度末に比べ74百万円増加いたしました。これは主に、長期預り金が85百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、65,107百万円となり、前連結会計年度末に比べ282百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は59,801百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,226百万円増加いたしました。これは主に、四半期純利益2,701百万円、剰余金の配当1,266百万円及び自己株式の増加583百万円、その他有価証券評価差額金の増加357百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は47.8%（前連結会計年度末は47.4%）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、ジェネリック医薬品の使用促進の流れを受け、引き続き販売が順調に推移するとみております。従いまして、今後の業績予想につきましては、平成24年5月15日に公表したとおり、売上高82,000百万円、営業利益16,500百万円、経常利益16,600百万円、当期純利益10,300百万円から変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(たな卸資産の評価方法の変更)

たな卸資産のうち商品、製品、仕掛品、原材料に係る評価方法は、従来、一部の子会社を除き移動平均法を採用しておりましたが、平成24年4月1日以降、新規に統合基幹業務システム（ERP）を導入したことを契機に、原価管理の精緻化及び製造費用の一時的な変動による在庫評価への影響を排除することで、より適正な期間損益計算を行うため、当第1四半期連結会計期間から総平均法に変更いたしました。

過去の連結会計年度に関する商品、製品、仕掛品、原材料の総平均法による受払計算に必要な情報が一部入手不可能であり、この会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を算定することは実務上不可能であると認められたため、前連結会計年度末の商品、製品、仕掛品、原材料の帳簿価額を当連結会計年度の期首残高として、期首から将来にわたり総平均法を適用しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ184百万円増加しております。

追加情報

(従業員持株会信託型ESOPに係る会計処理について)

当社は、平成24年5月15日開催の取締役会の決議により、従業員持株会（以下、「持株会」という。）を活用した中長期的な企業価値向上と福利厚生の拡充を目的としたインセンティブ・プランとして「従業員持株会信託型ESOP」（以下、「本制度」という。）を導入しております。

本制度では、当社が持株会に加入する従業員のうち一定の要件を充足する者を受益者とする信託（以下、「持株会信託」という。）を設定し、持株会信託は今後3年間にわたり持株会が取得すると見込まれる数の当社株式を、銀行から取得資金の借入を行った上で、株式市場から予め取得し、その後、持株会信託は持株会が定期的に行う当社株式の取得に際して、当社株式を持株会に売却を行うものであります。

持株会に対する当社株式の売却を通じて売却益相当額が累積した場合には、これを残余財産として受益者要件を充足する従業員に対して分配するものであります。

当該自己株式の処分に関する会計処理については、当社が持株会信託の債務を補償しており、経済的実態を重視する観点から、当社と持株会信託は一体であるとする会計処理をしており、持株会信託が所有する当社株式や持株会信託の資産及び負債並びに収益及び費用については、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書に含めて計上しております。

また、当社株価の下落により持株会信託が借入債務を完済できなかった場合には、当社が借入銀行に対して残存債務を弁済するため、これに伴う費用が当社において発生します。

なお、当第1四半期連結会計期間末に持株会信託が所有する当社株式数は70,800株であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,670	24,617
受取手形及び売掛金	25,486	26,689
商品及び製品	14,673	13,647
仕掛品	5,170	6,224
原材料及び貯蔵品	5,936	6,290
繰延税金資産	1,974	1,309
その他	618	889
貸倒引当金	△21	△13
流動資産合計	80,508	79,655
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	17,979	17,717
機械装置及び運搬具（純額）	7,008	6,718
土地	4,845	4,845
リース資産（純額）	19	17
建設仮勘定	2,401	4,514
その他（純額）	1,469	1,347
有形固定資産合計	33,724	35,162
無形固定資産		
投資その他の資産	2,013	1,957
投資有価証券	6,785	7,776
長期貸付金	5	2
長期前払費用	41	40
その他	360	356
貸倒引当金	△40	△44
投資その他の資産合計	7,153	8,132
固定資産合計	42,891	45,252
資産合計	123,399	124,908

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,793	11,411
短期借入金	2,688	4,288
リース債務	7	7
未払金	6,672	8,184
未払法人税等	4,039	718
賞与引当金	1,152	484
役員賞与引当金	78	41
返品調整引当金	64	63
売上割戻引当金	883	937
その他	550	1,001
流動負債合計	26,931	27,139
固定負債		
新株予約権付社債	30,512	30,475
長期借入金	5,480	5,458
リース債務	14	12
繰延税金負債	82	115
退職給付引当金	93	92
役員退職慰労引当金	425	443
長期預り金	1,284	1,369
固定負債合計	37,893	37,967
負債合計	64,824	65,107
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,900	11,912
資本剰余金	12,224	12,235
利益剰余金	33,657	35,092
自己株式	△3	△586
株主資本合計	57,779	58,653
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	715	1,072
その他の包括利益累計額合計	715	1,072
新株予約権	70	65
少数株主持分	9	9
純資産合計	58,574	59,801
負債純資産合計	123,399	124,908

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	15,878	19,684
売上原価	8,214	10,670
売上総利益	7,664	9,014
販売費及び一般管理費	4,282	4,911
営業利益	3,382	4,103
営業外収益		
受取利息	38	38
受取配当金	134	143
その他	24	35
営業外収益合計	197	217
営業外費用		
支払利息	43	33
売上債権売却損	8	9
その他	4	3
営業外費用合計	56	47
経常利益	3,522	4,273
特別損失		
固定資産除却損	5	76
特別損失合計	5	76
税金等調整前四半期純利益	3,517	4,196
法人税、住民税及び事業税	872	830
法人税等調整額	406	664
法人税等合計	1,278	1,494
少数株主損益調整前四半期純利益	2,238	2,701
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△0	0
四半期純利益	2,238	2,701

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,238	2,701
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	655	357
その他の包括利益合計	655	357
四半期包括利益	2,894	3,059
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,894	3,059
少数株主に係る四半期包括利益	△0	0

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。